内部炭素価格

2025 年 7 月 31 日公表

目　的

1.　本文書は、内部炭素価格に関する開示を作成するにあたり参考となる情報を提供することを目的としています。

キーワード
内部炭素価格、カーボン・プライシング、複数の内部炭素価格

何が求められているのか

2.　SSBJ 基準は、内部炭素価格を意思決定に用いている場合、内部炭素価格の適用方法及び内部炭素価格を開示することを求めています。

> 産業横断的指標等に関連して、次の事項を開示しなければならない。（気候基準第 46 項）
> (6)　内部炭素価格（第 83 項参照）

> 第 46 項(6)に関連して、次の事項に関する情報を開示しなければならない。（気候基準第 83 項）
> (1)　内部炭素価格を意思決定に用いている場合、次の事項に関する情報
> ①　内部炭素価格の適用方法（例えば、投資判断、移転価格及びシナリオ分析）
> ②　温室効果ガス排出に係るコストの評価に用いている内部炭素価格（温室効果ガス排出のメートル・トン当たりの価格で表す。）
> (2)　内部炭素価格を意思決定に用いていない場合、その旨

「内部炭素価格」とは

3.　「内部炭素価格」とは、投資、生産及び消費のパターンの変化並びに潜在的な技術上の進歩及び将来の排出削減コストの財務的影響を評価するために企業が使用する価格をいいます（気候基準第 6 項(1)）。

4.　内部炭素価格は、さまざまな目的で用いられます。企業がよく用いる内部炭素価格には、次のようなものがあると考えられます（気候基準 BC195 項）。

(1)　シャドー・プライス
理論上のコスト又は名目上の金額であり、企業はそれを請求しないものの、リスクの影響、新たな投資、プロジェクトの正味現在価値、さまざまな取組みの費用対効果など、経済的な影響又はトレードオフを理解するために使用することができるもの

SSBJ ハンドブックは、サステナビリティ基準委員会（SSBJ）事務局が SSBJ 基準を利用される方の便宜を考慮して作成したものであり、サステナビリティ基準委員会の審議を経ていない。
また、SSBJ ハンドブックに含まれる本文書は、公表日又は更新日現在のものであり、今後、更新する場合がある。

(2) 内部税又は手数料

事業活動、製品ライン又は他の事業単位に対して温室効果ガス排出に基づいて請求される炭素価格。内部税又は手数料は、企業内移転価格に類似している。

なぜ内部炭素価格に関する開示が求められているのか

5. 内部炭素価格を意思決定に用いている場合には、その内容について開示することが主要な利用者にとって有用な情報となり得ると考えられます。また、内部炭素価格に関する情報の開示を一律に求めるのではなく、内部炭素価格を意思決定に用いている場合に開示を求めることにより、開示のために企業に過度の負担がかかることはないと考えられます。このため、SSBJ 基準では、内部炭素価格に関する情報の開示を求めています（気候基準 BC196 項）。

「意思決定に用いている場合」とは

6. 企業は、排出の多い事業の見直し、低炭素製品の研究開発への投資判断、再生可能エネルギーの使用拡大のための投資判断、エネルギー効率の高い設備への投資判断、気候関連のシナリオ分析、移行リスクの財務的影響の計算等さまざまな目的で、内部炭素価格を意思決定に用いていると考えられます。

7. 開示の対象となる内部炭素価格は、通常、経営者による意思決定に用いられるものであると考えられます。これは、経営者による意思決定に用いられていない内部炭素価格を開示した場合は、企業の脱炭素に向けた取組み（排出の多い事業の見直し、低炭素製品の研究開発への投資判断等）に関して、かえって主要な利用者の誤解を生じさせる可能性があると考えられるためです。

8. 例えば、戦略的な意思決定を支援し、研究開発活動及び生産活動における温室効果ガス排出に係るコストを計算し、優先順位付けを行うために、削減コスト・アプローチを適用しているものの、当該アプローチを経営者による個別の投資意思決定に用いていない場合があると考えられます。このような場合は、内部炭素価格を意思決定に用いていない旨の開示を行うことになると考えられます。

関連する SSBJ ハンドブック

- 「複数の内部炭素価格を用いている場合の開示」

SSBJ 基準の定めは、重要性がない項目に対して適用する必要はないことにご留意ください。

以　上

SSBJ ハンドブックは、サステナビリティ基準委員会（SSBJ）事務局が SSBJ 基準を利用される方の便宜を考慮して作成したものであり、サステナビリティ基準委員会の審議を経ていない。
また、SSBJ ハンドブックに含まれる本文書は、公表日又は更新日現在のものであり、今後、更新する場合がある。